

東京都調布飛行場における横田基地所属ヘリコプターの
予防着陸について（口頭要請）

令和5年8月11日に、横田基地所属のヘリコプターUH-1Nがインフライトメンテナンス、エマージェンシー（コックピット内警告灯表示）のため、東京都調布飛行場に予防着陸しました。

飛行中の機体のトラブル発生は、人命に関わる重大な事故につながりかねず、多くの住民に不安を与えるものです。

貴職においては、このような状況を十分に認識され、次のとおり対応するよう要請します。（二重下線：米軍宛のみ）

貴職においては、このような状況を十分に認識され、次のとおり米軍に申し入れるよう要請します。（下線：国宛のみ）

- 1 今回のインフライトメンテナンス、エマージェンシー（コックピット内警告灯表示）の原因究明を行い再発防止の徹底を図ること。
- 2 所属機の点検整備を強化し、安全確保の徹底を図ること。
- 3 以上に関する情報を関係自治体に速やかに提供すること。

令和5年8月17日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

アンドリュー L. ラダン大佐 殿

北関東防衛局長 二又 知彦 殿

横田防衛事務所長 中村 敦 殿

横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会

会 長	東京都知事	小 池	百合子
副会長	羽 村 市長	橋 本	弘 山
	立 川 市長	清 水	庄 平
	昭 島 市長	臼 井	伸 介
	福 生 市長	加 藤	育 男
	武蔵村山市長	山 崎	泰 大
	瑞 穂 町 長	杉 浦	裕 之